

りそなグループ B.LEAGUE（Bリーグ）2024-25シーズン アルバルク東京×サーモス 試合会場でのプラスチック（ペットボトル）ごみ削減を目指した 『マイボトル推進プロジェクト』活動実績のお知らせ

魔法びんのグローバル企業として、人と社会に快適で環境にもやさしいライフスタイルを提案するサーモス株式会社（本社：東京都港区 社長：片岡 有二）は、Bリーグ所属のプロバスケットボールクラブ「アルバルク東京」とSDGsパートナー契約を締結し、『マイボトル推進プロジェクト』を通じて環境負荷の低減に取り組んでいます。2024-25シーズンのホームゲームにおいて、試合会場でのプラスチック（ペットボトル）ごみ削減に向けた取り組みを実施しております。2025年4月27日にシーズン最後の『マイボトル推進プロジェクト』を行い、このたび活動実績を公開しました。

アルバルク東京 × サーモス『マイボトル推進プロジェクト』とは

試合観戦時にマイボトルの利用を呼びかけ、ホームゲーム会場でのペットボトルごみ削減を目指すプロジェクトです。『マイボトル推進プロジェクト』では、下記4つの施策を実施しました。

- ① ホームゲーム30試合でのマイボトル推進（ブース抽選会）
- ② 新企画！小学校訪問「バスケとSDGs教室」開催
- ③ ドリンク容器リユースサービスの実証実験
- ④ ホーム試合会場内のサーモス特設ブースで「使用済みステンレス製魔法びん」を回収



<活動実績>

① 2024年10月～2025年4月 ホームゲーム30試合でのペットボトル概算廃棄量

ブース抽選会参加人数：10,037名

1試合あたりのペットボトル平均廃棄量：約30kg

1試合1人あたりのペットボトル平均廃棄量：約5g

試合実施月	ホームゲーム数	1試合あたりのペットボトル平均廃棄量	1試合1人あたりのペットボトル平均廃棄量
2024年10月～12月	11試合	約30kg	約7g
2025年1月～3月	12試合	約33kg	約5g
2025年4月	7試合	約27kg	約4g

※国立代々木競技場第一・第二体育館での試合では、ペットボトル1本を20gとして換算し、90リットルのごみ袋1袋に約100本分が入る量として、ごみ袋の使用枚数からペットボトルの本数を算出しています。

アリーナ立川立飛での試合では、実際に回収したペットボトルごみを計量し、その重さから本数を算出しています。

② 小学校訪問「バスケとSDGs教室」

「アルバルク東京」のアカデミーコーチ2名によるバスケットボール教室や、当社が取り組んでいるSDGs活動のミニセミナーを実施。また同日より、当社がSDGs活動の一環として取り組んでいる『ステンレス製魔法びん回収サービス』を今回の開催校である新宿区立花園小学校と豊島区立要小学校内で実施しました。子どもたちからは「短い時間でしたが、バスケットボールもとても楽しく、SDGsのセミナーも勉強になりました」などの声が寄せられました。教室に参加した子どもたちだけでなく、その保護者や学校関係者にも当社のSDGs活動を広めるきっかけとなりました。

◆ステンレス製魔法びん回収サービス回収総重量：22.7kg



③ 「ドリンク容器リユースサービス」の実証実験

2025年3月29日と4月26日のホーム試合にて使い捨てドリンク容器削減のため、ホームゲーム会場内のサーモスブースで「リユースタンブラー」を各ゲーム数量限定で貸し出しました。2試合合計で163杯分の使い捨てドリンク容器の使用を削減することができ、来場者の皆さまからもご好評をいただきました。さらに両日、マイボトルを持参いただいた方を対象に選手のサイン入りアイテムやサーモス製品などが当たる抽選会を行いました。



④ 「使用済みステンレス製魔法びん」の回収

ステンレス製魔法びんの再資源化を目指し、ご不要の「使用済みステンレス製魔法びん」を回収しました。回収した製品は、粉碎・選別などの処理を行い、再生材としてさまざまな製品の素材に再利用されます。

回収総重量：34.7kg

※2025年3月29日、4月26日のホームゲームが対象



©ALVARK TOKYO

また、使い捨てドリンク容器削減のため『真空断熱ジョッキ』で飲み放題を行う企画席「THERMOSシート」を設置しました。全15試合で販売し、**808杯分の使い捨てドリンク容器の削減**につながりました。

2024-25シーズンの『マイボトル推進プロジェクト』にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。来シーズンも、アルバルク東京とともに最適な温度の飲料とともにスポーツ観戦を楽しめるマイボトルを通じて、プラスチック（ペットボトル）ごみ低減を目指していきます。

■当社とプロバスケットボールクラブ アルバルク東京との取り組み

2021年よりアルバルク東京とサーモスは「SDGsパートナー」契約を締結しており、アルバルク東京のホームゲームにおいて試合観戦時のマイボトル利用を促す

『マイボトル推進プロジェクト』や、真空断熱ジョッキでドリンクを提供する特別企画シート「THERMOSシート」の設置、ホームゲーム会場での使い捨て容器の削減に向けた施策など、様々な取り組みを推進しております。

ALVARK
TOKYO